



# さいたま新都心駅周辺のバリアフリー整備状況とまちあるき勉強会での市民意見を紹介します！

<さいたま新都心・北与野地区まちあるき勉強会 実施概要>

日時：令和元年11月14日（木）9時～11時50分

参加者：計25名（高齢者・障害者・育児支援等の団体代表者、学識経験者、市職員など）

まちあるき勉強会の進め方

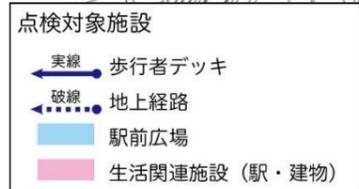
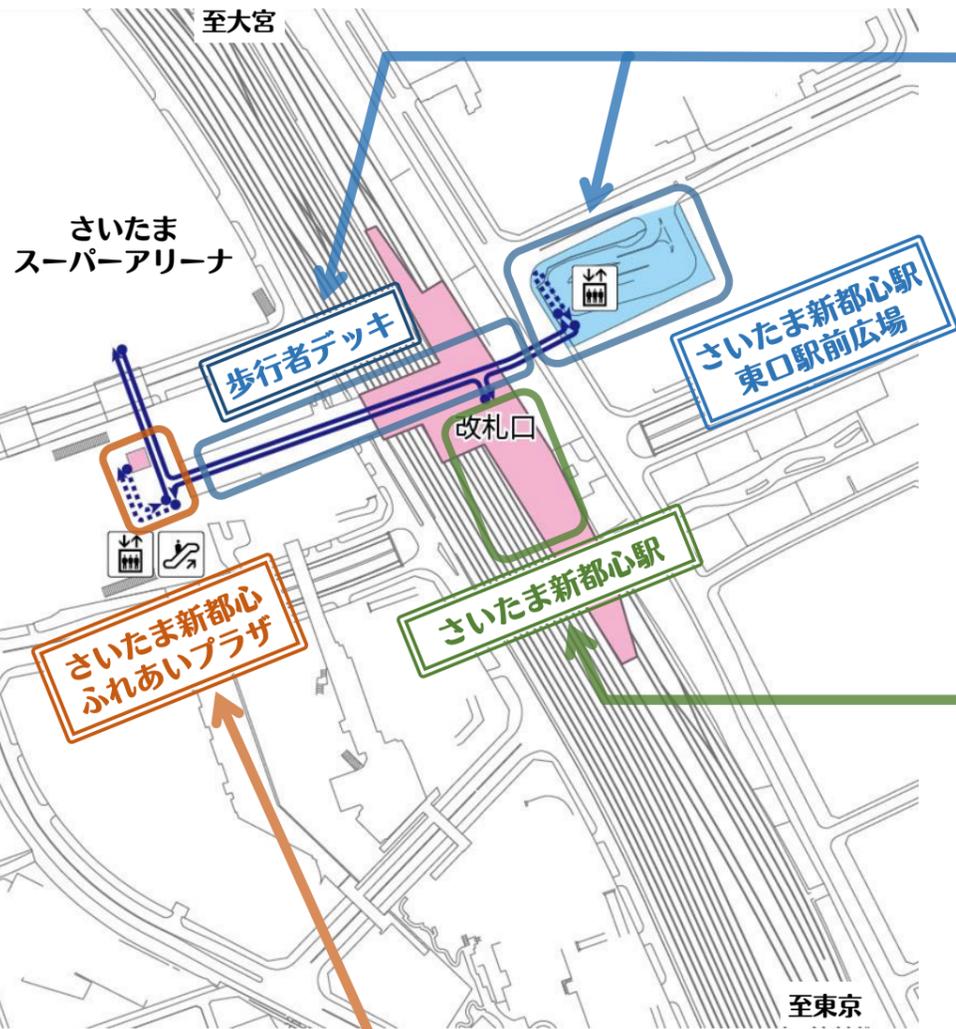


## まちあるきルート

みんなで視覚障害者誘導用ブロックのルートを歩いて体験しました。



ベビーカーを押すお母さんにも体験してもらいました。



## さいたま新都心ふれあいプラザ

ふれあいプラザでは「ボランティアマネージャー」が常駐し、新都心のバリアフリー推進活動を行っています。

●：良い点

ふれあいプラザの取組

- ベビーカーや車いすの貸出（無料）のことを知らなかった。誰もが遊びに来やすくなる。
- ボランティアの方々の取組や情報発信は、とても良いと思う。

ふれあいプラザを拠点に活動する「さいたま新都心バリアフリーまちづくりボランティア」は、新都心のまち案内、大小さまざまなイベント活動、小学生等のバリアフリー体験の補助などの活動を行っています。

## 歩行者デッキ・道路・駅前広場

まち全体が歩行者デッキのネットワークで結ばれ、エレベーターやエスカレーターなども整備されています。

現地状況

視覚障害者誘導用ブロックや案内誘導施設など、様々なバリアフリー設備がありますが、整備されてから時間が経過していることもあり、部分的な破損や色あせなど老朽化の課題がうかがえました。

●：良い点 ▲：気づいた点

歩きやすさ・安全性

- 平坦な道が多く子供と一緒に歩いても歩きやすい。
- ▲ 駅へ向かう通路の坂は緩いが距離が長いので手すりがあると助かる。
- ▲ 誘導用ブロックの近くにある柱や工作物が障害となる。
- 駅前広場へ下るエレベーターは広く奥行きがよい。
- ▲ 駅前広場の階段の段鼻の黄色い表示が薄くなっていて、わかりにくい。



誘導用ブロック

- ▲ 階段降り口の点状ブロックは2列が望ましい。
- ▲ JIS規格に準拠していない古い型の誘導ブロックがあり、踏んでもわかりにくい。統一してほしい。



交差点

- 信号機に音響設備が設置されていてよい。



## さいたま新都心駅

官公庁施設の外、大型の文化・商業施設、新たな医療施設等の中心に位置する駅です。

充実した様々なバリアフリー設備

駅構内は広く、エレベーターやエスカレーター、多目的トイレやベビー休憩室に加えて、市内初のほじょ犬トイレなど様々な施設が充実しています。

●：良い点 ▲：気づいた点

駅構内・改札付近の施設

- ベビー休憩室に授乳室・施錠できる自動ドア・暖房などが整備されていてとても良かった。
- 改札口前の大型テレビは、耳の不自由な方へ情報提供できる。手話通訳もあってよい。
- ▲ 耳の不自由な方には、エスカレーターでホームに降りた所やホームドア、改札口等に文字情報・電光掲示板があるとよい。



トイレ

- 様々な利用者に対応したトイレが整備されていてよかった。
- ▲ ベビーチェアがトイレトペーパーの近くにあり、子供が触るので危ない。
- 多目的トイレが左右の障害別に用意されていて使いやすい。
- 駅構内のほじょ犬用トイレは素晴らしい。今まで見たこともなかった。

